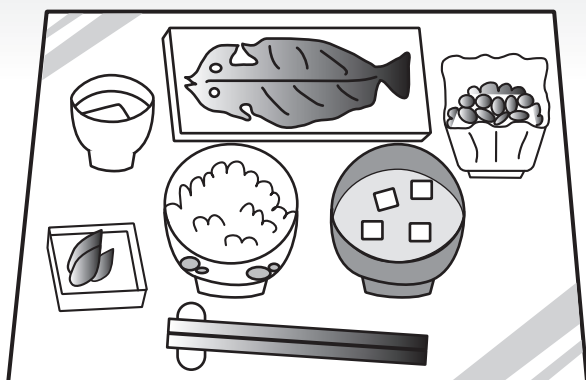
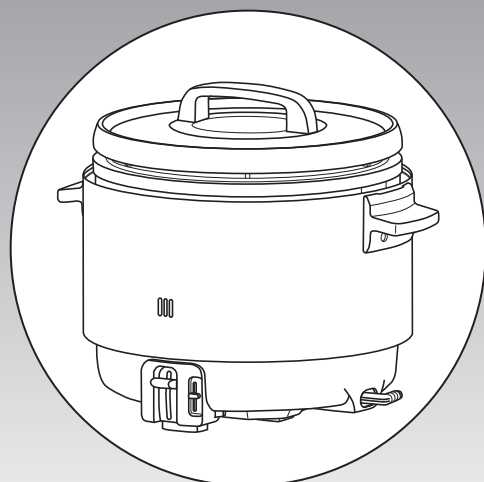
パロマガス炊飯器

業務用

PR-360SS
PR-360SSF

取扱説明書

保証書付

**このたびはガス炊飯器をお買い上げ
いただきまして、ありがとうございます。**

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くの当社までお問い合せください。

もくじ

特　長 ≪低輻射タイプガス炊飯器≫

◆低輻射 …………………… 外胴部を4重構造にしたことにより、胴体の温度を大幅に低減しました。
万一ご使用中に胴体にさわってもやけどの心配がなく、安心です。

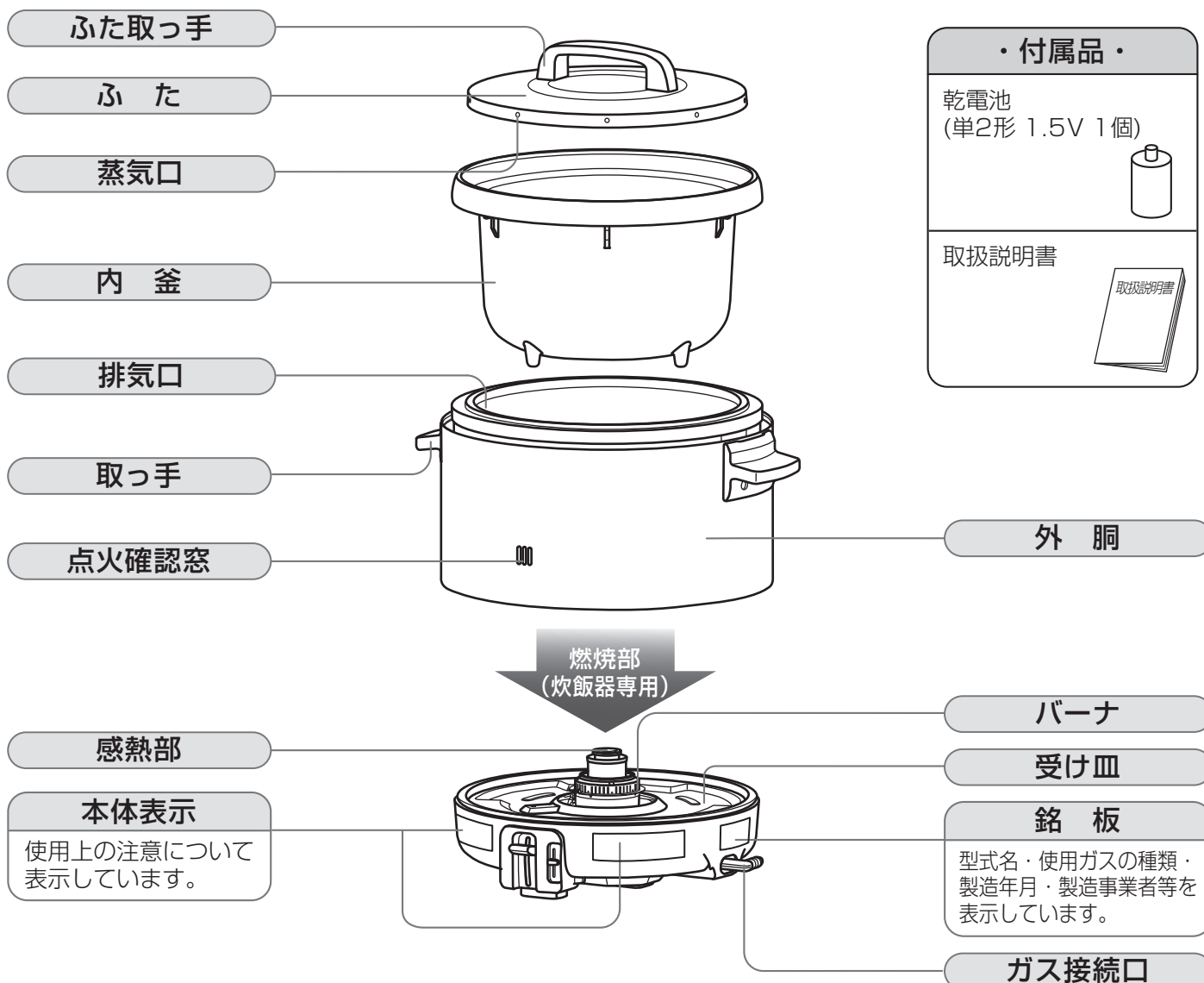
◆簡単清掃 ………………… 外胴部表面が焦げつかないので、サッとふくだけで簡単に掃除ができます。

◆Wの安全 ………………… 立消え安全装置　：使用中に立ち消えしたり、点火しない場合にガスを遮断します。
異常過熱防止装置：炊飯器本体が異常に過熱された場合にガスを遮断します。

◆鋳物厚釜 ………………… 釜全体に熱が均等に伝わりやすい鋳物厚釜を採用。炊きむらをおさえます。

◆火力調節レバー …… 火力調節レバーで火力を自在に調節できます。
火力次第でお好みの味を追求できます。

◆スピード炊飯 ………… ガスならではの本格炎炊きにより、お米を素早くふっくらツヤのあるおいしいご飯に炊き上げます。

各部のなまえ

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止

火気禁止

接触禁止

分解禁止

発火注意

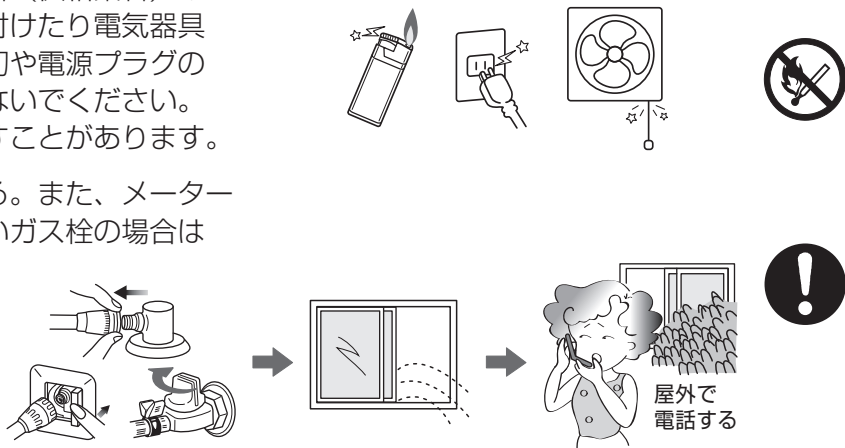
必ず行う

換気必要

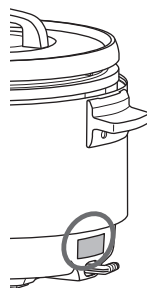
⚠危険

ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

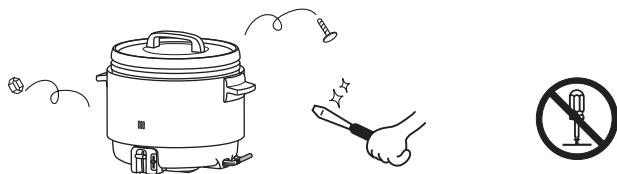
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓を閉じる。（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす）
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お近くのガス事業者（供給業者）まで連絡する。

⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

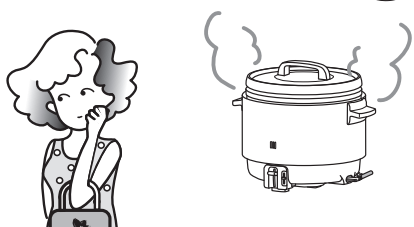
表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。

型式名
LPガス　ガス消費量
製造年・月-製造番号　製造事業者名

型式名　都市ガス用
ガスグループ　ガス消費量
製造年・月-製造番号　製造事業者名

絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

⚠警告

火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出しない

火災の原因になります。

機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。火災の原因になります。

炊飯中、排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

火災や不完全燃焼の原因になります。

機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

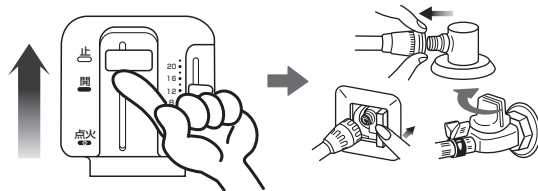
スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

点火操作、消火操作をしたときは必ず炎を確認する。また、使用後は機器のガス栓を閉じる

異常時・緊急時の処置

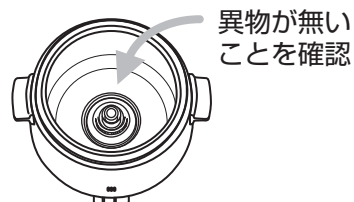
①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓から接続具をはずす）

②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。

当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

内釜をセットするときに、燃焼部にしゃもじやスプーンなど異物が無いことを確認する

異常燃焼や火災の原因になります。

使用中・使用直後の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。使用中・使用直後の機器は高温のため転倒すると、火災・やけどの原因となります。

⚠警告

ガス接続

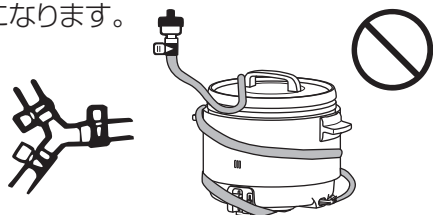
①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない

②機器の上や下を通さない

③高温部に触れない。

　また、他の熱源などの高温部に触れない

④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因になります。

接続口に汚れやごみがないようにする

ガス漏れの原因になります。

ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。

ガスコードを使用する場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する

「設置について」の「ガスコード接続の場合」を参照してください。間違った接続はガス漏れの原因になります。

ホースエンド　器具用スリムプラグ　ガスコード

赤い線

ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める

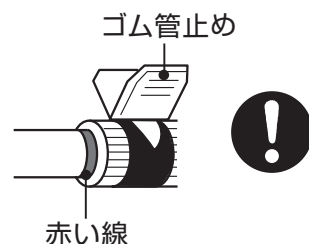
ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。

⚠注意

ガス事故防止（換気に注意）

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。

換気必要

炊飯以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

＊こんろとして使用しないでください。

幼児や小さな子供に触らせない、手の届くところで使用しない

思わぬ事故の原因になります。

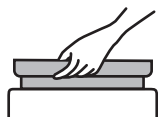
使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。

＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。

⚠ 注意

内釜をセットするときは上端部を持つ

内釜と本体に手をはさまれ、
ケガをすることがあります。

水平で安定したところに設置する

事故や故障の原因になります。

機器の周囲に樹脂製品などの熱に弱いものを置かない

変形または変色するおそれがあります。

窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない

機器焼損や作動不良の原因になります。

湯沸器の下に機器を設置しない

湯沸器の不完全燃焼防止装置が作動し、
湯沸器が火がつかない場合があります。
また、湯沸器の寿命を縮めます。

この機器の点火装置以外の方法では点火しない

やけどをするおそれが
あります。

点火操作をしても点火しない場合は点火レバーを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに
点火して、衣服に燃え移ったり、やけ
どをするおそれがあります。

点火操作をするときは点火確認窓に顔を近づけすぎない

炎で顔にやけどをするおそれがあります。

炊飯中はふたを開閉しない

途中消火したり、ご飯がうまく炊けない
場合があります。

炊飯中や炊飯直後に蒸気口・排気口に手や顔を近づけない また、炊飯直後にふたを開けるときも蒸気に注意する

蒸気や排気でやけどをするおそれがあります。

炊飯直後に内釜や外胴を移動させる場合は、ビニールクロス、畳等の上に直接置かない

内釜の底部が高温になっているため、
火災の原因になります。

炊飯器のふたを開閉するときは注意する

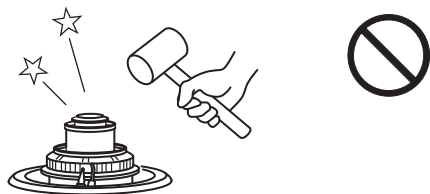
ふた取っ手を持ち、指をはさまない
ように注意して開閉してください。

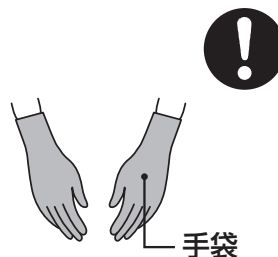
⚠注意

感熱部に強いショックやキズを与えない

感熱部が故障する原因となります。

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

感熱部はいつもきれいにする

感熱部が汚れていたり、内釜との間に異物があるとセンサーが正常に働かないことがあります。

本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。

おねがい

■使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

■燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

■初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

設置について

使用前の準備と確認

①箱から機器の底を持って取り出し、あて紙や梱包部材を取り除く
②ご使用のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
　合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する

設置場所と周囲の防火措置

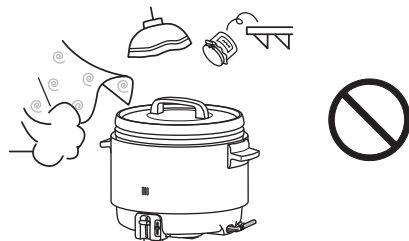
一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

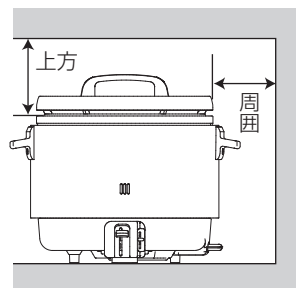
＊防火措置は各地の火災予防条例に従ってください。

⚠警告

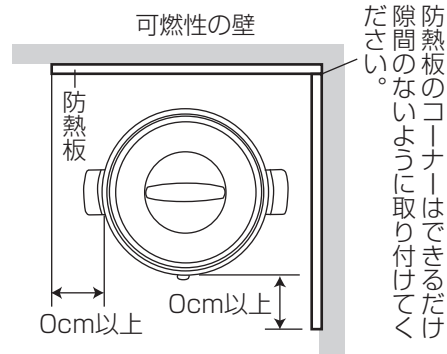
下記の条件を満たしている場所をお選びください。

＊設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

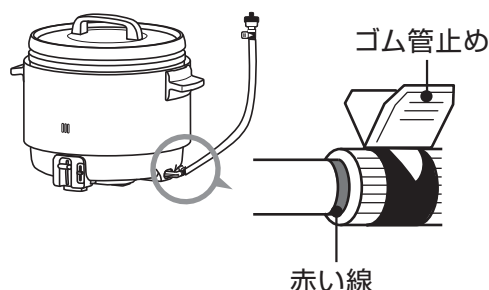
- ●換気が良い
- ●周囲に可燃物がない
- ●水平で安定している
- ●風が吹き込まない
- ●落下物の危険がない
- ●水や熱がかからない
- ●上に湯沸器がない
- ●幼児の手が届かない
- ●上に照明器具などの樹脂製品がない

①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

周囲の可燃物より、15cm以上離します。
上方は30cm以上離します。

**②①の条件を満たせない場合は
周囲・上方に防熱板を取り付ける**

防熱板（金属以外の厚さ3mm以上の不燃材）を図のように取り付けてください。
防熱板を取り付けた場合は周囲の可燃物より4.5cm以上、上方は15cm以上離します。
また、防熱板から器具がはみ出さないように設置してください。（0cm以上）

※不燃材について詳しくはお買い上げの
　販売店かお近くの当社までご連絡ください。

ゴム管接続の場合

＜用意するもの＞

●φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本（市販品）
（都市ガス用とLPガス用があります。お使いのガスに合わせてお選びください。）
●ゴム管止め2個（市販品）

①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

ガスコード接続の場合

＜用意するもの＞

●器具用スリムプラグ（市販品）
●ガスコード（市販品）

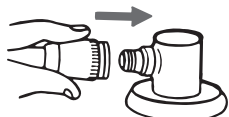
＊ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がコンセントになっていないと接続できません。従来のガス栓で使用する場合は、市販のガス栓用プラグが必要です。

ガス機器側の接続

①下図のように、まず器具用スリムプラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
②次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに"カチッ"と音がするまで差し込む
（器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。）

ガス栓側の接続

（ガス栓がガスコード用であることを確認してください。）

①ガス栓を開けるとき
コンセント継手を"カチッ"と音がするまで確実に差し込む

●コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

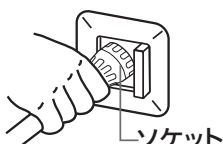
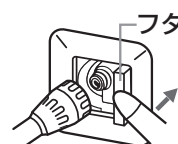
②ガス栓を閉めるとき
コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

●コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

ガスコンセントについて

「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。

●フタを開ける
フタの右端を押す

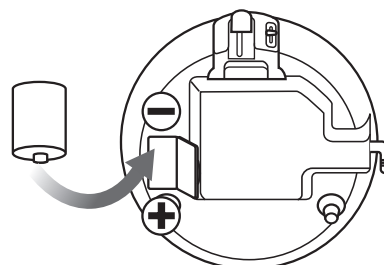
●取り付ける
"カチッ"と音がするまで差し込む

●取りはずす
右端にあるフタを押す

乾電池のセット

機器の裏側から乾電池を入れる（単2形 1.5V 1個）

●乾電池の＋と－を逆に入れると作動しません。

⚠注意

乾電池は充電 ・ 分解 ・ 加熱したり、火の中に投入しない

乾電池が破裂し、手や衣服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

おねがい

●電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
●乾電池の挿入方向を間違えないでください。
●乾電池は必ず新品のアルカリ乾電池をご使用ください。
マンガン乾電池を使用の場合は寿命が短くなります。
●乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月ー年）」を過ぎている場合は放電により、寿命が短くなります。また、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

炊飯の準備

1 お米を正しく計り、手早く洗う

●最初にたっぷりの水を加えてさっとかき混ぜ、すぐに水を捨てます。その後は水のにごりがなくなるまで洗います。
●お米は内釜で洗えます。

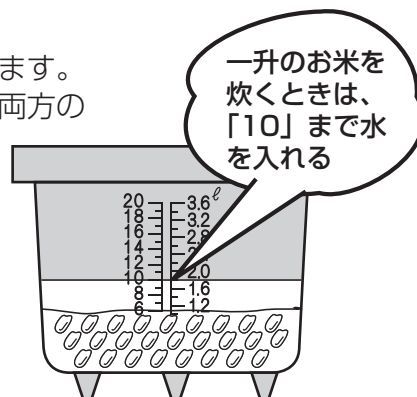
お米の換算表
1升 ＝ 1.5kg ＝ 1.8 ℓ ＝ 10合
1kg ＝ 1.2 ℓ ＝ 6.7合
0.83kg ＝ 1ℓ ＝ 5.6合

おねがい

●洗いかたが不十分な場合は、こげの原因になります。
●一度水に浸したお米は砕けやすく、長く洗米されると砕け米が多くなります。
また、洗うときに力を入れすぎると砕けやすくなります。
●砕け米・粉米などが混じって炊飯すると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色の原因になります。
●洗米機をご使用の場合は、洗米機の取扱説明書に準じて洗米を行ってください。

2 水加減をする

●内釜の水位めもりは左側が「合」、右側が「リットル」を示します。
●内釜を水平な台の上に置いてお米を平らにならし、内側にある両方の水位めもりで合わせてください。
●水位目盛りはめやすですので、お好みに合わせて水加減してください。特にやわらかく炊きたいときでも、水増しの量は1目盛りまでにしてください。

一升のお米を炊くときは、「10」まで水を入れる

おねがい

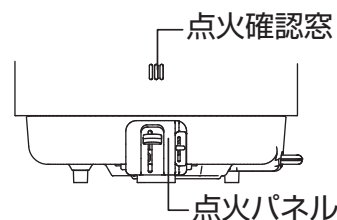
●表示されている炊飯量以上および以下では炊飯しないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因となります。

3 お米を水に浸す

●お米をおいしく炊くために、しばらく水に浸しておきます。

お米を水に浸しておくめやす時間		
季　節	春〜夏	秋〜冬
白米・無洗米	30分	60分
胚芽精米・輸入米・古米	60分	90分

4 外胴を燃焼部にのせる

●点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。
●外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れや、こげる原因となります。

5 内釜を外胴に入れふたを閉める

●内釜の外側や外胴の内側に付いた米粒・水は必ず拭き取ってからセットしてください。

⚠警告

内釜をセットするときに、燃焼部にしゃもじやスプーンなど異物が無いことを確認する

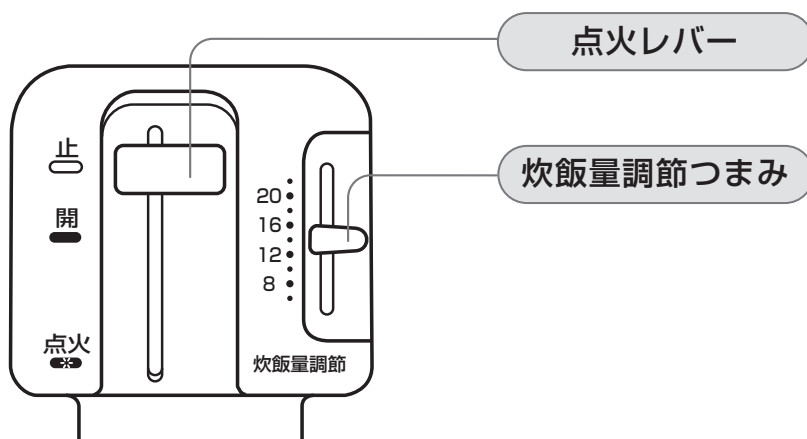
異常燃焼や火災の原因になります。

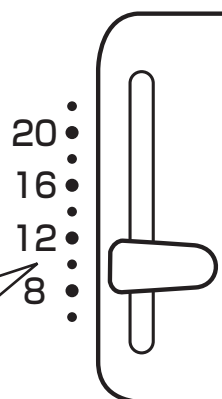
異物が無いことを確認

6 点火レバーが「止」の位置にあることを確認した後、ガス栓を全開にする

無洗米を炊く場合

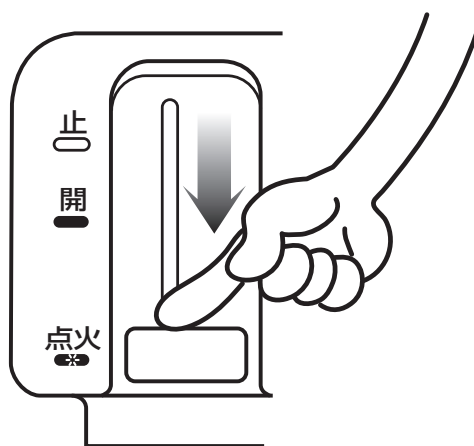
●無洗米を浸漬すると、米の表面に気泡が付着しますので、底のほうから数回かき回して吸水しやすくしてください。
●1〜2度米をすすいで、水のにごりを少なくしてから炊飯することをおすすめします。
水がにごったまま炊飯すると炊飯不良になることがあります。
●米をすすがないまま炊飯する場合は、米量を16合（2.4kg、2.88ℓ）までにしてください。
●水位めもりよりも水量を多めにしてください。詳しくは「無洗米メーカーの炊きかた」に従ってください。
●浸漬時間のめやすは夏：30分、冬：60分です。
●おねばにはこげ色がつくことがありますが、異常ではありません。

炊飯のしかた

1 炊飯量と同じ「合」数に炊飯量調節つまみを合わせる

●炊飯量に見合った火力に調節できます。

炊飯量調節

●めもりはめやすです。お好みにより微調整してください。
●具入りのごはんを炊くときは、炊飯量より多めのめもりに合わせてください。
●やわらかめに炊くときなど、お好みにより水を多くする場合は、炊飯量よりも多めのめもりに合わせてください。

2 ①点火レバーをいっぱいまで押し下げ、そのまま数秒間保持する

●パチパチと音がして点火します。

②手を離しても点火していることを点火確認窓から確認する

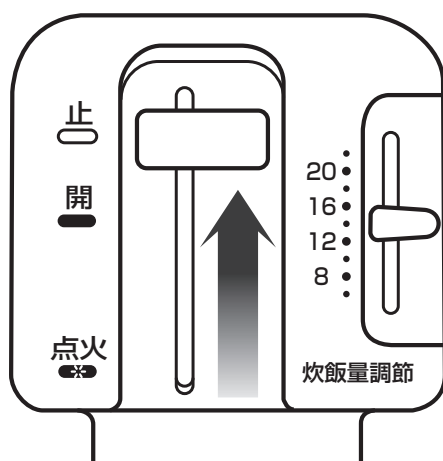
●使用中もときどき燃焼を確認してください。

⚠注意

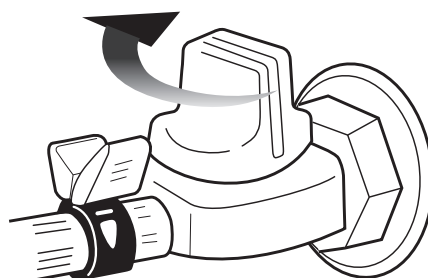
万一点火しないときは、点火レバーを「止」の位置までもどした後、いったん内釜をはずしてガスを逃がす。その後内釜をセットし直し、改めて点火操作を行う

ガスを逃がさないと爆発点火ややけどの原因になります。

ごはんが炊きあがると点火レバーが「止」にもどる

●ふたを開けないで、15分程むらしてください。

●むらしが終わったら、ベタついたり、固まったりするのを防ぐため、必ず早めにごはん全体をほぐしてください。

ガス栓を閉める

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

点検とお手入れ

⚠注意

機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

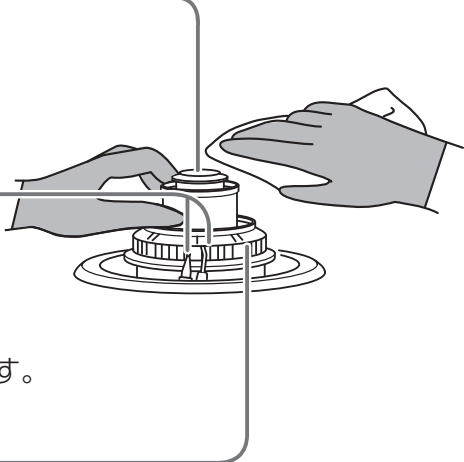
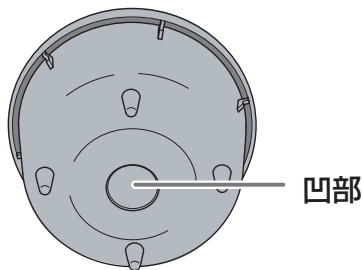
おねがい

- ●点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。（機器が冷えるまで時間がかかります。）
- ●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- ●故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- ●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの当社にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- ●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

＊点検は常時行ってください

1.機器の周りに可燃物等はありませんか？
2.内釜は正しくセットされていますか？
3.ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？
4.汚れていませんか？
5.ガス臭くありませんか？
6.乾電池は消耗していませんか？
点火のときのパチパチする音が遅くなったときは新しい乾電池と早めに交換してください。

お手入れのしかた

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

- ●機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- ●工具を使用しての分解は絶対にしないでください。お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。異常作動や発火をしてけがの原因になります。
- ●お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。

おねがい

- ●シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。また、印刷塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
- ●汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。

ふた・機器本体

水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とした後、洗剤分をふき取り、からぶきする

感熱部

感熱部の頭部

感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

電極・炎検出部

汚れや水分が付いたときは、取り付け位置を動かさないように注意して、やわらかい布でふき取る

＊汚れや水分が付いていると、点火しにくくなります。

バーナ炎口

バーナがつまっているときや汚れのひどいときは、電極・炎検出部の取り付け位置を動かさないように注意して、バーナをブラシで掃除する

内釜

使用後はこめ粒、おねば等を洗い落とし、常に水切りよく保存しておく

●特にまぜごはん等の後のお手入れや水切りは、十分行ってください。
●凹部の汚れはふき取ってください。
●内釜を洗うときはやわらかいスポンジをお使いください。
（スチールウール、たわし、みがき粉などは使用しないでください。）
＊PR-360SSの場合、かまの表面が傷つくと、ふきんなどで拭いた場合に色がつくこともあります。

フッ素樹脂加工釜について（PR-360SSF）

●しゃもじはプラスチック製または木製のものを使用してください。
●内釜の中で食器や野菜などを洗うことはおやめください。
●酢などの酸の強いものを使用することはおやめください。
●使っているうちにピンホール（針先程度の穴）やはく離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には変わりありません。しかし、著しくはく離が進行して使用に不便をきたすようなときは、新しい内釜をお求めください。

ライスネット

ライスネット使用の場合、炊飯のたびに米粒、おねば等を洗い落とす

●目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常のあるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

現　象	原　因	処　置　方　法
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガスの開き不十分	ガス栓を全開にする
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目詰まり	バーナ炎口のお手入れをする
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す
	点火操作が不適切	点火レバーを押す時間を長くする
	炎検出部・電極が水濡れしたり、汚れている	お手入れをする
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する
黄色い炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目詰まり	バーナ炎口のお手入れをする
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する
	ゴム管のひび割れ・穴あき	新しいゴム管と交換する
ごはんがうまく炊けない 自動消火しない 早切れする ふきこぼれが多い ごはんがこげる 炊きむらがある ごはんがふやける	機器が傾いている	正しく設置する
	内釜裏の凹部、感熱部が汚れている	お手入れをする
	ふたが確実に閉まっていない	確実に閉める
	お米の量・水加減が不適切	「炊飯の準備」に従う
	赤飯・おこわ・まぜご飯などを多めに炊いた	具・お米の量を共に減らす
	ザルで水切りしている	洗米後は必ず水に浸す
	浸し時間が適切でない	表を参照する（10ページ参照）
	割れ米になっている	正しく洗米する
	炊きあがり後、ごはんをよくほぐしていない	ほぐして水分を飛ばす
	ごはんにぬか分が残っている	正しく洗米する

こんな場合は故障ではありません

故障ではない場合	理　由
点火･消火のときに「ジー」「ボッ」という音がする	点火時、消火時に「ジー」「ボッ」という音がする場合がありますが、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。 ※万が一ガス臭い場合は、使用を停止してください。

立消え安全装置が作動したとき

風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止めます。
点火レバーを「止」の位置にもどしてください。再点火するときは、周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
③汚れを取り除く（「点検とお手入れ」参照）
④乾電池を取りはずす
⑤箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは２４時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●現象(できるだけ詳しく)
- ●品名・器具名(銘板表示のもの)
- ●ご購入日・ガス種
- ●道順

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町６番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－１１－9大平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

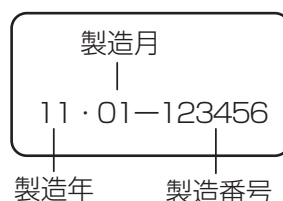
■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後6年間保有しております。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますのでお買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

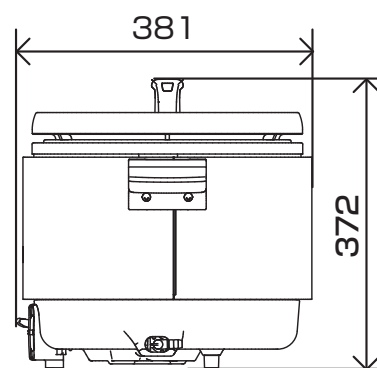
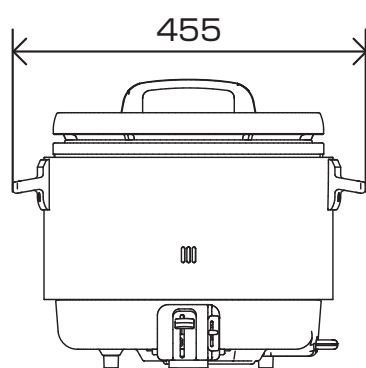
■製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　名		PR-360SS・PR-360SSF
器具名		PR-360SS・PR-360SSF
型式名		H-8-3
種　類		ガス炊飯器
点火方式		連続放電点火
外形寸法（高さ×幅×奥行）		372×455×381mm
質量（本体）		9.5kg
炊飯量	最　小	1.0L(5.6合)
	最　大	3.6L（20.0合）
ガス接続		φ9.5mmガス用ゴム管
安全装置		立消え安全装置・過熱防止装置

使用ガスグループ		ガス消費量　kW
都市ガス用	12A	3.02
	13A	3.22
LPガス用		3.14

外形寸法図 （単位：mm）

保 証 書

品　　名	ガス炊飯器 PR-360SS・PR-360SSF

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
（ハ）公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
（ニ）車輌、船舶への搭載等に使用された場合の故障および損傷
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ヘ）消耗部品の取替えおよび保守等の費用
（ト）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　　　様	保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から１年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修理記録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

点検･修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認していただき、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

- ご住所･ご氏名･電話番号
- 現象(できるだけ詳しく)
- 品名・器具名(銘板表示のもの)
- ご購入日･ガス種
- 道順

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

23. 2.　①　H　02　94611